

R7年度

「セキュアな環境における生成AIの校務利用の実証研究事業」

【事業Ⅲ】成果報告

今年度の取組概要

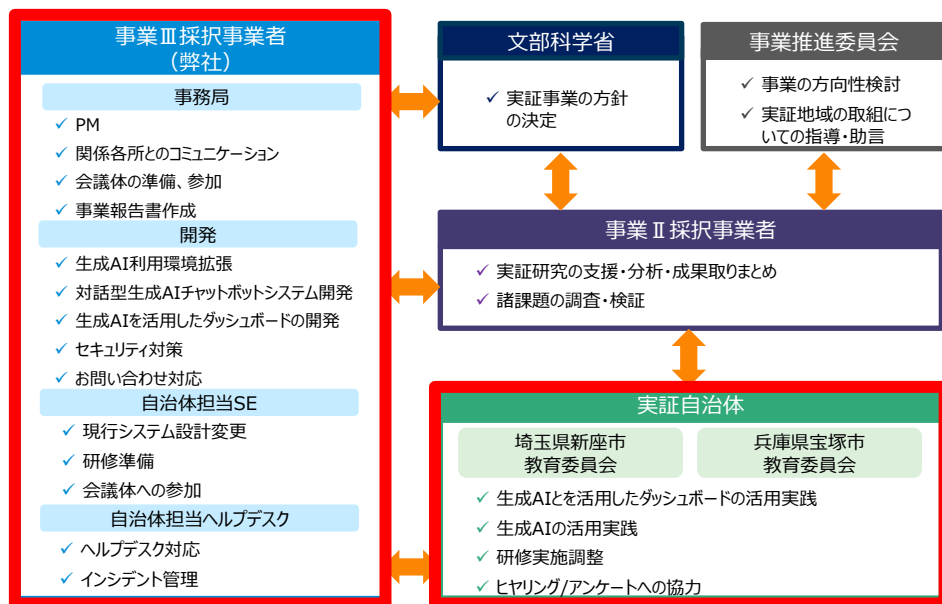
セキュアな環境における生成AIの校務利用の実証研究事業

事業趣旨

適切なセキュリティ対策の下で個人情報等重要性の高い情報を取り扱える生成AIの利用環境において、**ダッシュボード(※)**等のツールとの連携を含む生成AIの校務での更なる活用に関する実証研究を行う。

※**ダッシュボード**：「大事なデータがひと目でわかるまとめ画面」を指す。

実証研究体制



本事業に対し、弊社は**2年目**の参画！

昨年度に引き続き、

✓ **埼玉県 新座市**

✓ **兵庫県 宝塚市**

と共に、校務における生成AIを活用したユースケースの創出を試みました。

そして、その先に、教職員の皆様の児童・生徒と向き合う時間の増加を目指しました。

初年度の経験を元に、2年目の事業への参画



出典：文部科学省／「次世代の校務デジタル化推進実証事業」（生成AIの校務での活用に関する実証研究）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02710.html

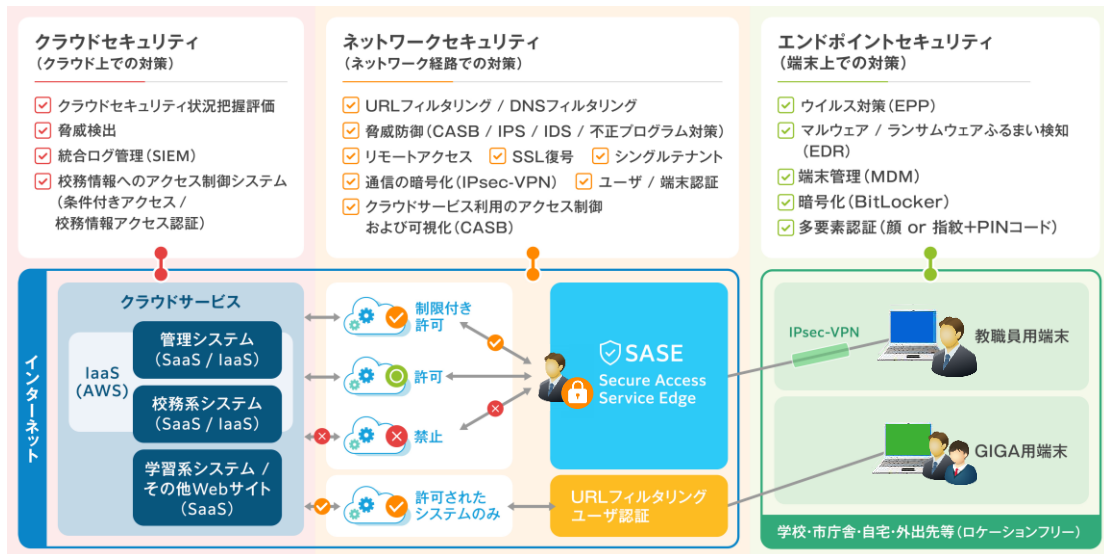
（令和6年度実施）生成AIの校務での活用に関する実証研究	
事業趣旨	適切なセキュリティを確保し、データベースの整備も含め重要性の高い情報を取り扱える環境（以下「セキュアな環境」という。）において、教職員が生成AIを校務でどのように利活用できるかを検証する実証研究を実施。
成果	これまでの約款による外部サービスの活用では実現できなかった、児童生徒の氏名や成績情報等の重要性の高い情報を用いた児童生徒の見取り・支援の強化や所見の作成、アンケート分析等の 生成AIの利活用事例が各地域の抱える課題の解消を狙って創出 され、実際に教師や教育委員会職員の業務の効率化や高度化等の効果が確認できた点が、主な成果。

今年度

今年度、初年度の経験を元に、さらなる校務における生成AIの活用に挑戦！

実証研究を支える、実証地域のセキュアな環境

埼玉県 新座市



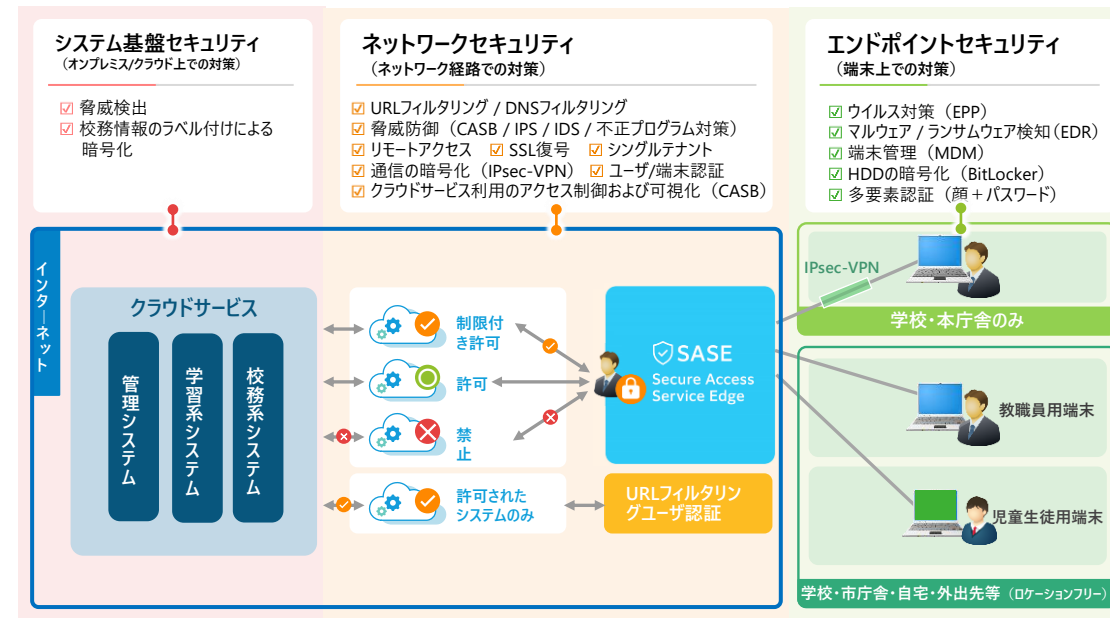
完全フルクラウド構成、完全ロケーションフリー。 教育データの利活用も促進中。

フルクラウド構成となっており、オンプレミスのサーバは一切なし。
また自宅からも校内からも全く同一のセキュリティ性を保ち全てのサービス (プリンタ以外) が利用可能。
教育データの利活用においてもダッシュボードの利活用などの促進をしており、非常に先進的な取り組みをされている教育委員会。

兵庫県 宝塚市

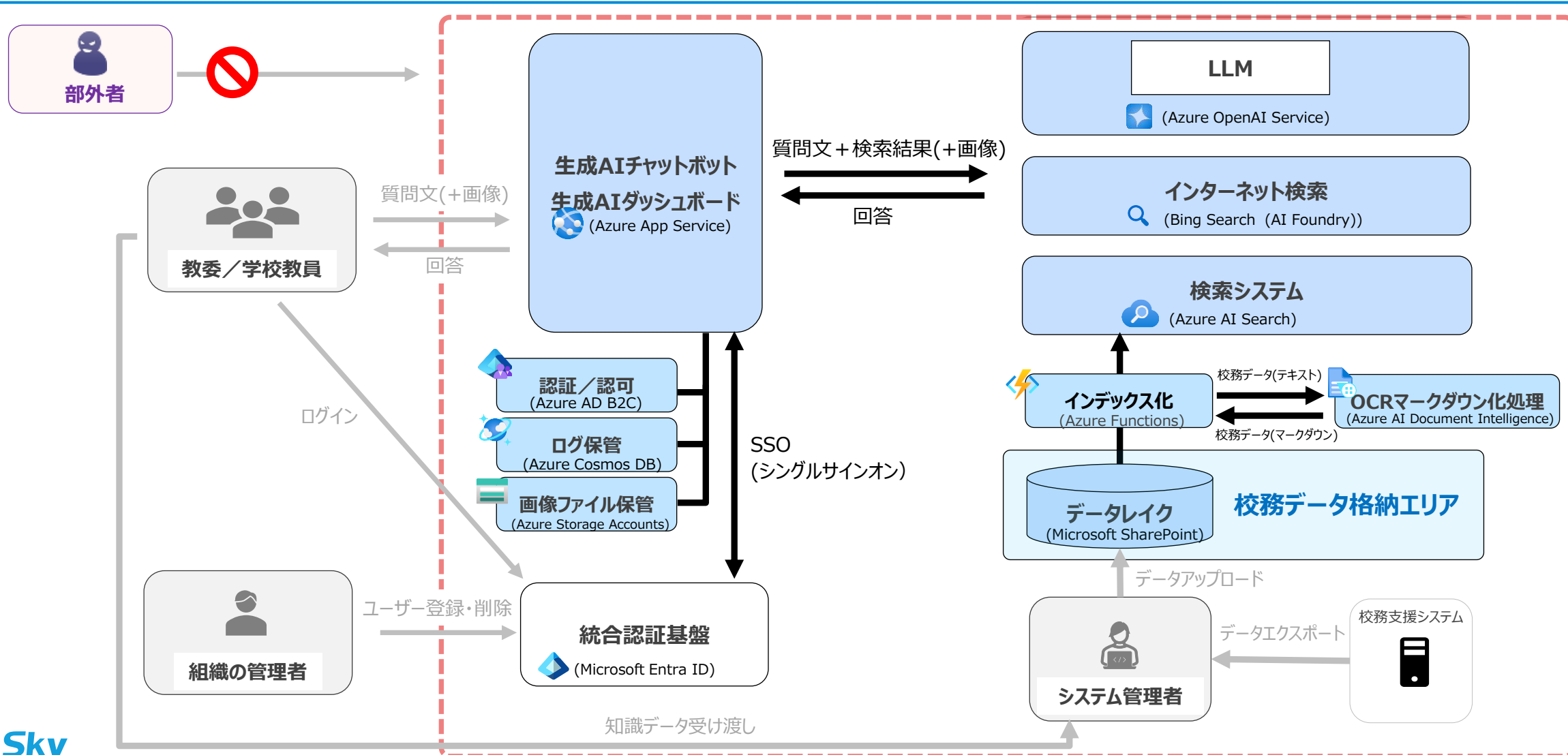
校務支援システムのクラウド化も推進。 アクセス認証型の構成を実現。

今年度、オンプレミスに残っていた校務支援システムもクラウド化を推進。
教職員や児童生徒の皆様の利便性に直結する学習系サービスやコミュニケーションサービスなどは、SaaSをフル活用されている教育委員会。



検証用システム構築

個人情報等、重要性の高い情報を取り扱える生成AI環境の構築



シンプル画面でAIを最大活用、負担のない操作で校務をサポート



#	エリア	説明
①	コンテンツエリア	利用者と生成AIのやり取りを、対話形式で表示するエリア。
②	メニューエリア	利用者が使いやすいよう、コンテンツエリアを、用途別に使いやすい画面構成に切り替え。
③	履歴エリア	利用者が、過去に行ったチャット履歴の参照が可能。 履歴を選択することで、生成AIとのやり取りを再開可能。
④	チャット入力エリア	利用者が生成AIに問い合わせる内容を入力するエリア。
⑤	データレイクへのリンク	利用者が生成AIで参照させたい校務データを格納するストレージへのリンク。

セキュアな環境だからこそ実現した、個人情報を利用したAI活用

2025年 青空小学校 1年1組 青空太郎さんについて保護者向けの所見を作成してください。
情報があれば以下の内容を用いてください。
・学習の記録・成長の様子・活動の記録

情報がなければ情報が無いことを伝えてください。

以下は、2025年度 青空小学校 1年1組 青空太郎さんについて保護者向けにまとめた所見例です。

1年1組 青空太郎さん 保護者様

学習の記録

青空太郎さんは、どの教科にも意欲的に取り組む姿勢が見られます。特に国語では、ひらがなの読み書きがスムーズにできるようになり、文章を読む力も向上しています。物語の内容を理解し、友達と意見を交換しながら活動する場面が増え、言葉の良さにも気づき始めています。算数では、基本的な計算を正確に行うことができ、粘り強く考える力が伸びています。わからないことがあると自分から質問し、積極的に学習に取り組む姿が印象的です。

成長の様子

太郎さんは、毎日元気に登校し、明るい挨拶を心がけています。クラスのルールを守り、先生の指示にもきちんと従うことができている。友達とも仲良く協力して活動できるだけでなく、困っている友達を見つけると自ら進んで助ける姿勢が見られます。グループ活動ではリーダーシップを発揮し、みんなをまとめることもできるようになりました。協調性や責任感も育まれてきており、クラスの中での役割を積極的に引き受けています。

活動の記録

図画工作や音楽などの表現活動にも意欲的に取り組み、創造的な発想を持って作品づくりや歌、演奏にチャレンジしています。体育の授業でも元気よく体を動かし、仲間と協力して運動することを楽しんでいます。生活科や特別活動の場面でも、自分の考えをしっかりともちつつ、集団の中でより良い関係づくりを目指して行動できるようになりました。

今後は、さらに自分の考えを深めたり、発表の場で自信をもって意見を伝えたりする力を伸ばしていけることを期待しています。ご家庭でも引き続き温かく見守り、ご支援いただけますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。

一般的な生成AIでは、学校内のみで管理している児童、生徒の個人情報参照することはできず、**校務における生成AIの有効活用は行えない。**

また、個人情報をプロンプトに入力すると、生成AIが学習されてしまい、気づかないうちに**情報漏洩を起こしてしまう。**

本事業では、生成AIが児童、生徒の個人情報を参照することができるが、**学習は行わず、且つ外部からもシステムを利用(アクセス)できない状態**とすることで、**機微な情報を守りながら、校務での生成AI活用を実現。**

個人情報を含むもの/含まないものが入り乱れた校務データ

個人情報を含む校務データ	個人情報を含まない校務データ
<ul style="list-style-type: none">• 評定一覧表• 出席簿• 児童・生徒等健康調査票• 児童生徒名簿• 健康診断票• 指導要録原本• 学習活動の記録(動画・写真等)• 児童生徒の学習記録 (ワークシート・レポート・作品等)	<ul style="list-style-type: none">• 校務支援システムマニュアル• 教育機関からの通知• 公用文• 学習状況調査データ• 校則・ルールブック• 時間割表• 講習会テキスト・研修資料• 事業計画書• 職員会議議事録 等

先生方が行う校務を、生成AIでサポートできる仕組みを開発

成績ダッシュボード

個人情報利用有

生徒の成績情報をグラフなどを利用して可視化。

この可視化した情報に対し、システム利用者が生成AIに質問を行うことで、**表示されている内容に対する傾向分析や、指導案の作成などの支援**を受けることができる機能。

成績情報を1学期から3学期まで、継続的に準備することで、成績の推移に対する考察も可能となる。また、教科毎の成績に着目することも可能であり、学年や学級の平均点との比較や、各テスト内容をインプットすることにより、対象の生徒の得意、苦手分野の傾向分析も可能な機能。

校務データ利用チャット

個人情報利用有

セキュアな環境ならでの**個人情報扱うことが可能となるチャット機能**。

各学校毎にアクセス件設定を施されたデータレイクに対し、先生方が校務に利用する個人情報も含まれるデータを格納。

生成AIチャットシステムにて、登録したデータに含まれる個人情報を利用した生成AIとのチャットにおける壁打ちが可能となる。

例：指導要録を登録している状態で、各生徒の所見作成を生成AIでサポート。

校務支援システムFAQ

個人情報利用無

自治体毎に利用されている校務支援システムのマニュアルを、生成AIが参照できるようにデータレイクに登録。

校務支援システムのマニュアルのみを参照するチャットメニューを作成し、**曖昧な表現での検索や、システムの使い方、トラブルシュートを生成AIで解決！**

例えば、『成績情報の入力の仕方を教えて』など、教職員が行うべき内容を直接質問することで、生成AIはどの校務支援システムに、どのような操作を行うかを回答。

役割を与えた生成AIチャット(ベテラン教師 青空先生)

個人情報利用無

生成AIにベテラン教師の役割を設定し、**若手の先生の相談から指導内容に対するディスカッションなど、壁打ち用の生成AIメニュー**として開発。

様々な質問や相談に、これまでの膨大な経験(生成AI自体の学習データ)を元に、適切な回答や助言を行うチャットメニュー。

質疑の最後には質問者に対し、質問に応じた偉人の格言を送るなど、ユーモアのあるベテラン教師として利用者の相談相手となるよう設計。

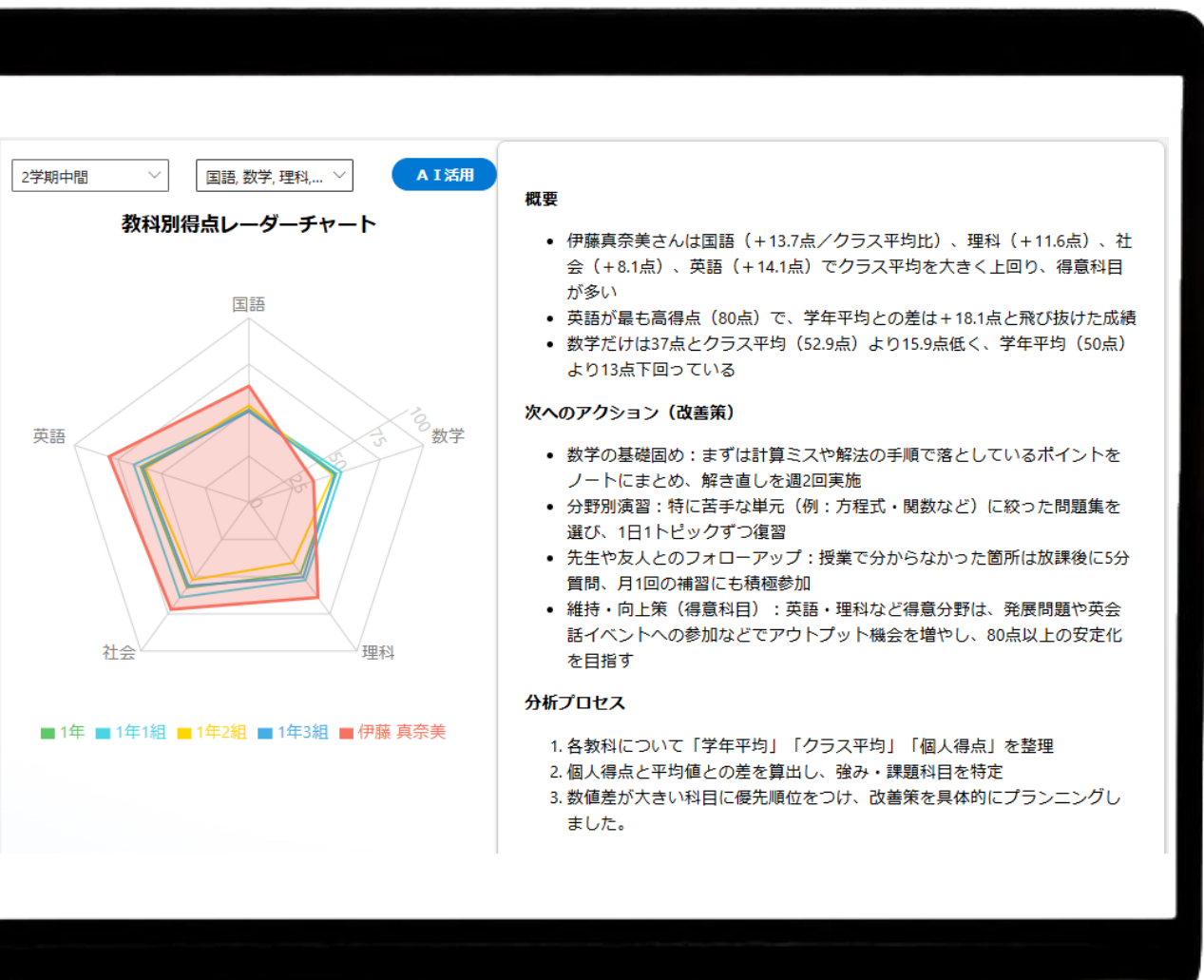
校務におけるユースケース創出を、あらゆる角度からトライ

機能カテゴリ	機能名称	詳細	機能カテゴリ	機能名称	詳細	
共通機能	履歴機能	チャットの履歴機能	チャット機能	新規チャット(GPT-5)	GPT-5を利用したチャット機能	
	評価機能	チャットに対する評価機能(いいね ボタン)		文書校正	文書校正に特化したチャット機能	
	コピー機能	チャット内容のコピー機能		校務データ利用チャット	校務データを利用したチャット機能	
	エクスポート機能	チャット内容のエクスポート機能 (Wordへのエクスポート)		インターネット利用チャット	回答を生成するにあたり、インターネットの情報を参考とするチャット機能	
	利用制限機能	チャット利用の制限機能		学級だより作成	校務文書作成に特化したチャット	
	プロンプト例反映機能	チャットへの入力例を入力欄に反映する機能		ベテラン教師 青空先生	校務に関する相談に特化したチャット	
	プロンプト文書改善機能	チャット入力文章を、生成AIが回答しやすい内容に変換し利用者に提案する機能		校務支援システムFAQ	校務支援システムの利用方法への回答に特化したチャット	
	ファイルアップロード機能	生成AIに読み込ませるためのファイルをアップロードする機能		画像生成 & 編集	画像を生成 & 編集するチャット	
	校務データ格納先遷移機能	校務データ格納先(SharePoint Online)へ画面遷移する機能		保護者対応ロールプレイチャット	保護者の方からの問い合わせに対するロールプレイを行うチャット	
	システムマニュアル表示機能	システムマニュアルを表示する機能		PDF分析	同一形式のPDFファイルを分析するチャット	
	音声入力機能	音声で入力する機能		じっくり考えるチャット	分析機能に特化したモデルを利用するチャット	
	音声出力機能	音声で出力する機能		ダッシュボード機能	生徒のインターネットアクセスログのデータや、成績情報を分析する生成AI組込みダッシュボード	
	パーソナライズ機能	パーソナリティを登録する機能		コンテンツ解析機能	文書抽出	文書から任意の項目を抽出できる機能
	マイプロンプト機能	自分だけのプロンプトを登録する機能			音声文字起こし	音声ファイルから文字起こしができる機能

開発の主役は利用いただく先生方！対話と即時リリースで“使える”を追求

時期	コンセプト		リリース機能
	生成AIチャット	生成AIダッシュボード	
1学期	前年度の 課題・要望回収！	ダッシュボードを知る	<ul style="list-style-type: none"> ベテラン教師 青空先生 校務支援システムFAQチャット 校務データ格納先遷移機能とデータ取込頻度の向上 システムマニュアル表示機能 画像生成機能 音声入出力機能 ロールプレイチャット アップロード可能ファイル形式追加(PDF/Officeファイルへ対応)
			<ul style="list-style-type: none"> Webアクセスログを用いた端末利用時間分析
2学期	利用者に寄り添った 精度の向上	AIダッシュボードでの 校務データ 可視化体験	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIによる利用傾向分析 パーソナライズ機能 マイプロンプト登録機能
3学期	校務における 生成AIの高度利用！	成績データを用いた AIダッシュボードの 実利用	<ul style="list-style-type: none"> 校務データ利用ダッシュボード(成績データ) ※デモあり
			<ul style="list-style-type: none"> 画像生成&編集機能 生成AIからの回答を対象としたWordエクスポート機能 LLMモデルバージョンアップ(GPT-5対応) 音声文字起こし 授業分析エージェント

成績から、個性や傾向を掴め！生成AIが描く、次世代の指導ダッシュボード



✓ セキュアな環境だからこその実現！
児童・生徒の試験結果データを、ダッシュボード化

✓ 可視化されたデータを、生成AIがさらに分析！
可視化の奥に潜む小さな変化もキャッチアップ

✓ 可視化データを元に、生成AIとの壁打ちにより、データから見る児童・生徒の指導方針を構築

学校において、定期的実施される試験の結果は、児童・生徒の傾向をつかむ最も重要なデータの一つ。また、試験データに加え、日々の様子なども含めて生成AIに分析をさせることで、児童・生徒に対する更なる見取りへの昇華が可能。

研修及びワークショップ

「わかる」で終わらせない、明日、学校で「できる」に変わる研修

今年度、検証用システムをより効果的にご利用いただき、校務に生成AIを取り入れていただくため、事前を取得したアンケートを元に、研修プログラムを、随時、そのタイミングで必要とされているものに変更

※取得したアンケートを、各自治体に提供している検証用生成AIシステムで分析。

上位に位置するご意見、ご要望を元に、研修プログラムを構築。

順位	宝塚市アンケート結果	新座市アンケート結果
1	活用事例・具体的プロンプト（指示文）の紹介・共有	具体的な活用事例・使い方の提示を求める
2	業務ごとの AI 活用ガイドライン・フォーマットの整備	活用のための研修・マニュアル・サポートの充実
3	AI 活用の研修・講習会の開催を希望	個人情報・児童生徒の実態への対応の難しさ
4	AI 活用による文章作成支援 （所見・学級通信・報告書等）	AI による文章作成・所見作成の精度・信頼性への懸念
5	個人情報・児童生徒の細かい実態への対応についての不安・課題	業務効率化への期待・AI の導入希望

先生の「知りたい」を形に！アンケート結果を元にした研修プログラムの構築

研修Step	時期		研修形態	研修に対する要望	研修内容
	宝塚市	新座市			
Step1	06/26(木)	06/24(火)	オフライン(対面)	—	昨年度の成果報告、今年度の取り組み説明とお願い、生成AIのおさらい、今年度の計画、システムの新機能のご紹介を実施。
Step2	08/25(月)	8/29(金)	オフライン(対面)	—	有識者による夏休み研修。 本研修の中で、新規リリース機能の紹介及び、現時点における質疑対応を実施。
個別研修	—	野火止小学校 08/27(水)	オフライン(対面)	情報主任による研修は実施済み。 この為、さらに一步踏み込んだ、生成AIがどういったものを作り出せるかを感じれる研修を希望。	野火止小学校よりお声がけを頂き、提供システムを利用したワークショップ型の個別研修を実施。
Step3	10/02(木)	10/16(木)	オンライン(Web) オフライン(対面)	【アンケート結果より】 『AI活用の研修・講習会の開催希望』の声多数	生成AIチャットシステム体験型ワークショップを実施。
Step4	01/15(木)	11/20(木)	オンライン(Web)	【アンケート結果より】 『具体的な活用事例・使い方の共有』の声多数	校務データ利用ダッシュボードの紹介、ユースケース展開を実施。

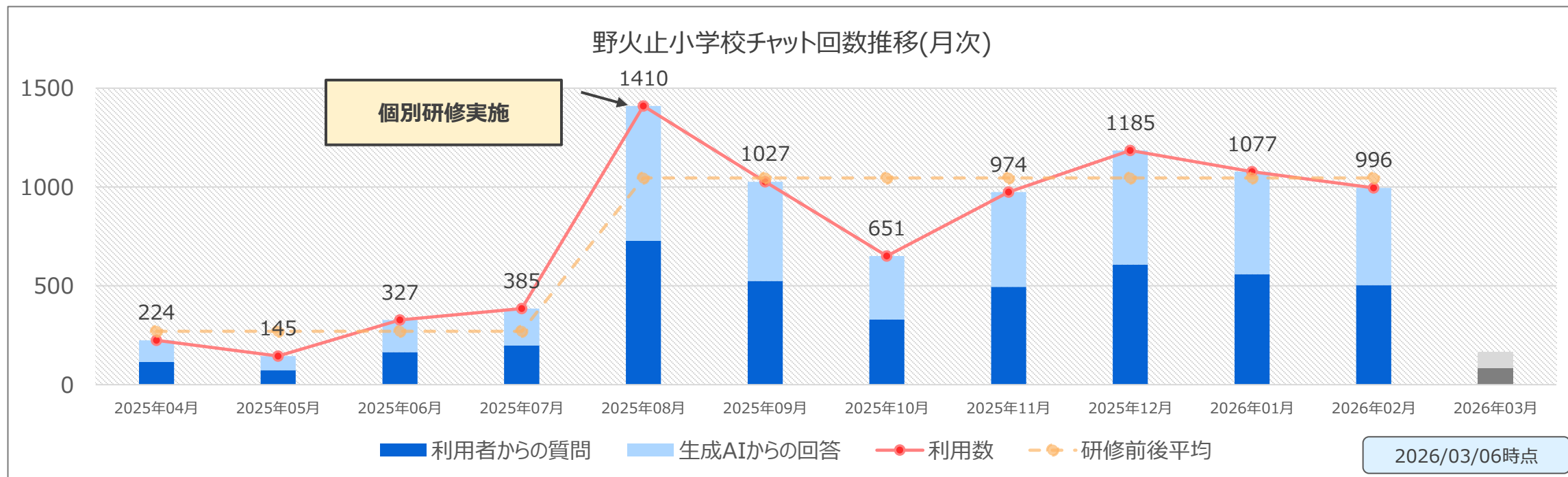
個別研修が起点となり、生成AI活用が「日常の選択肢」として校内へ普及

個別研修のご相談をいただいた野火止小学校。

その時点の生成AIの利用状況を元に、必要と考えられる研修プログラム構成を検討しワークショップの開催へ。

ワークショップでは、私たちも驚くようなアイデアも飛び出し、翌日には職員室に、「生成AI」「青空先生」などの単語が飛び交うように！

それまで、校務に対しどのように利用すべきか迷っておられた先生方に対し、利活用に向けた**1歩目**をサポート！



生成AI活用を定着化させる、体験型ワークショップ

<p>研修タイトル</p>	<p>校務利用における生成AIチャット体験型ワークショップ</p>			
<p>背景</p>	<p>アンケート取得の結果、使い方や具体事例などをお求めの声多数。</p> <p>【アンケートでのご意見(多い順)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的な活用事例・使い方の提示を求める 2. 活用のための研修・マニュアル・サポートの充実 3. 個人情報・児童生徒の実態への対応の難しさ 4. AIによる文章作成・所見作成の精度・信頼性への懸念 5. 業務効率化への期待・AIの導入希望 			
<p>目的</p>	<p>システムをご利用を頂ける方を増やし、2学期以降の校務におけるユースケースを生み出す機会を増やす。</p> <p>研修後に受講者に資料を提供し、受講して下さった先生方が各校に持ち帰り、講師役とし校内で広めて頂くことを目的とした。</p>			
<p>内容</p>	<p>基本的な使い方(プロンプトの作り方)や、事例となりうるケースをご用意し、生成AIの使い方を、参加者の皆様にもシステムを動かしてもらいながら体験頂くワークショップ形式で実施。</p> <p>例：運動会の写真を利用した学級だより作成、期末テスト前の小テスト作成、季節イベントに沿ったテーマで開催。</p>			
<p>参加者</p>	<p>新座市</p>	<p>約30名／教職員</p>	<p>宝塚市</p>	<p>約40名／教職員</p>
<p>その他</p>	<p>Teamsを利用したオンライン形式の回は、ワークショップの進行と並行し、Teamsチャットにより不明点などを共有し、先生同士でのサポートや意見交換も見られました。</p>			

生成AIで校務効率化！実践者のリアルな使い方を大公開！

研修タイトル	各校利用ケース紹介 ～利用体験を全員に！～			
背景	アンケートの中でも、『実際に活用している方の具体的な事例などを学ぶ機会があったらありがたい』といった意見が多かった為、各自治体内で、他校の先生方がどのような使い方をされているのか、全体として共有する機会を創出。			
目的	同じ自治体内での色々な使い方を知って頂くことで、自校での利用促進や類似の使い方に繋げて頂くこと。 また、他の方の使い方も参考として、ご利用の幅を広げて頂くこと。 これらをもとに、さらなる効果を感じて頂くこと、実際の校務の効率化に繋げて頂くことを目的とした。			
参加者	新座市	約30名／教職員	宝塚市	約40名／教職員
内容	この2年の実証研究で、色々な使い方を模索いただいたので、その事例を共有する場とした。 実際に同じ教職員の方の効果的な使い方を、【利用データ】【プロンプト】【得られた結果】【工夫した点】などを踏まえご紹介をいただいた。参加者からは、身近でリアリティのある事例の共有が非常に参考になったと、研修自体も高い満足度を得ることができた。			
実施形態	オンライン(Teamsを利用) ※Teams上に作成したコミュニティより研修ルームを作成し実施。研修後も継続して情報共有を可能とした。			
実施後アンケート	新座市	★★★★☆ 4.52	宝塚市	★★★★☆ 4.31

研修プログラム ～第4回：事例共有会～

事例共有 ～新座市教職員の皆様より～

8月に個別研修に伺った野火止小学校の“今”を、アンケートしていただきました。

夏休みの研修以降、生成AIを活用することがありますか。

活用頻度	割合
毎日	18%
週に1回程度	25%
週に2～3回程度	19%
月に1回程度	19%
2週に1回程度	19%

活用頻度を教えてください。

■ある ■ない

■毎日 ■2週に1回程度

実践② 専門性の拡張：学力学習調査

令和7年度の学力学習調査の結果1Qの結果を参照してください。ここから見えることを分析してください。数値の特徴や、傾向を見つけると幸いです。できれば学校全体、学年での違いなどが分かるとういです。

児童理解のための「新しい選択肢」
教師の「経験知」と掛け合わせることで実現。

- ✓ 従来の所要時間：60分→わずか5分
- ✓ プロセス：「先生の気付き」×「AIの分析」
＝より深い児童理解

まとめ

- ・ 小学校の調査は、中学校より前向き傾向が顕著で、結果的に中学校より調査結果が向上している。
- ・ 調査結果を踏まえ、児童理解を深め、学習意欲を高めるための取り組みが、児童理解の向上に寄与している。
- ・ 調査結果を踏まえ、児童理解を深め、学習意欲を高めるための取り組みが、児童理解の向上に寄与している。

校務支援AIチャット (新座市) データ消費量：1%

最新のクワック分析レポート (例：特性、支援の必要性、備考欄からの配慮点など) ・各クワックごとに、特性・保護者対応・トラブル予防策の傾向チェックとコメント・表の下にクラスごと・全体の児童数 (男女別・合計) を記載【補足】 ・初期案のみAIで作成し、最終調整は人力で行う ・構成案の根拠や配慮ポイントも簡潔に記載してください

下記は、添付された「新1年開き取り クラス編成.xlsx」の情報とご指定条件に基づき作成した初期クラス編成案です。
児童全員 (61名) を漏れなく振り分け、男女比、園のバランス、特別な支援配慮、備考欄の分類 同席 異席 対応ができています。

新しい質問を入力してください (Shift + Enterで改行)

※このチャットは、提供いただいた校務データを利用して回答を生成します。入力情報が外部に出ることはありませんので、個人情報も入力いただけます。

チャット履歴

2025年11月
Transport Methods Comparison
Unit 10: The City

生成AI活用術

校務支援AIチャット データ消費量：0%

教科別得点レーダーチャート

概要

- 坂本さんは国語 (73点) と数学 (59点)、体育 (82点) で学年平均・クラス平均を上回っています
- 理科 (20点)、社会 (39点)、英語 (41点)、音楽 (54点)、技家 (56点) で大きく平均を下回っています
- 特に理科は学年平均42.8点に対し22.8点の差、社会は15.9点差と苦手科目が目立ちます

次へのアクション (改善策)

- 理科 (20点 vs 学年平均42.8点/クラス平均44.9点)
 - 週1回の個別指導で基礎概念 (力学・生物分野など) を重点復習
 - 小テスト形式で苦手分野の到達度を可視化し、弱点補強
- 社会 (39点 vs 学年平均54.9点/クラス平均60.4点)
 - 教科書準拠のチャートや年表を使い、時代背景・用語をカード化して暗記
 - 月1回の復習会で地理・歴史・公民の混合問題を解く演習
- 英語 (41点 vs 学年平均59.3点/クラス平均59.5点)
 - 毎日の単語テスト (1日10語) と英作文ドリルで基礎文法を強化
 - 英語クラブ参加で「聞く・話す」力を実践的に向上
- 音楽 (54点 vs 学年平均58.8点/クラス平均61.3点)
 - 授業外での楽器練習時間を週2回以上設定し、ピッチとリズム感を養成
 - 聴音問題用のアプリや模試で耳のトレーニングを定期実施
- 技家 (56点 vs 学年平均63.5点/クラス平均65.5点)
 - 実技課題を自宅でも小規模に再現し、手順書を作成して理解を深める
 - 放課後の技術クラブで先輩の作品づくりを手伝い、ノウハウを吸収

分析プロセス

小学校3年生向けの冬休みの宿題を考えています。生徒が家庭で取り組める、学習効果が高く、楽しみながらできる課題のアイデアを3つ教えてください。特に国語と算数に関連するものが欲しいです。

※このチャットは、2024年6月までの学習データを元に回答を生成します。入力情報が外部に出ることはありませんので、個人情報も入力いただけます。

メニュー

- ダッシュボード
- じっくり考えるチャット
- PDF分析 (preview)
- 校務データ利用チャット
- 新規チャット (GPT-4.1)
- 画像生成

チャット履歴

最近

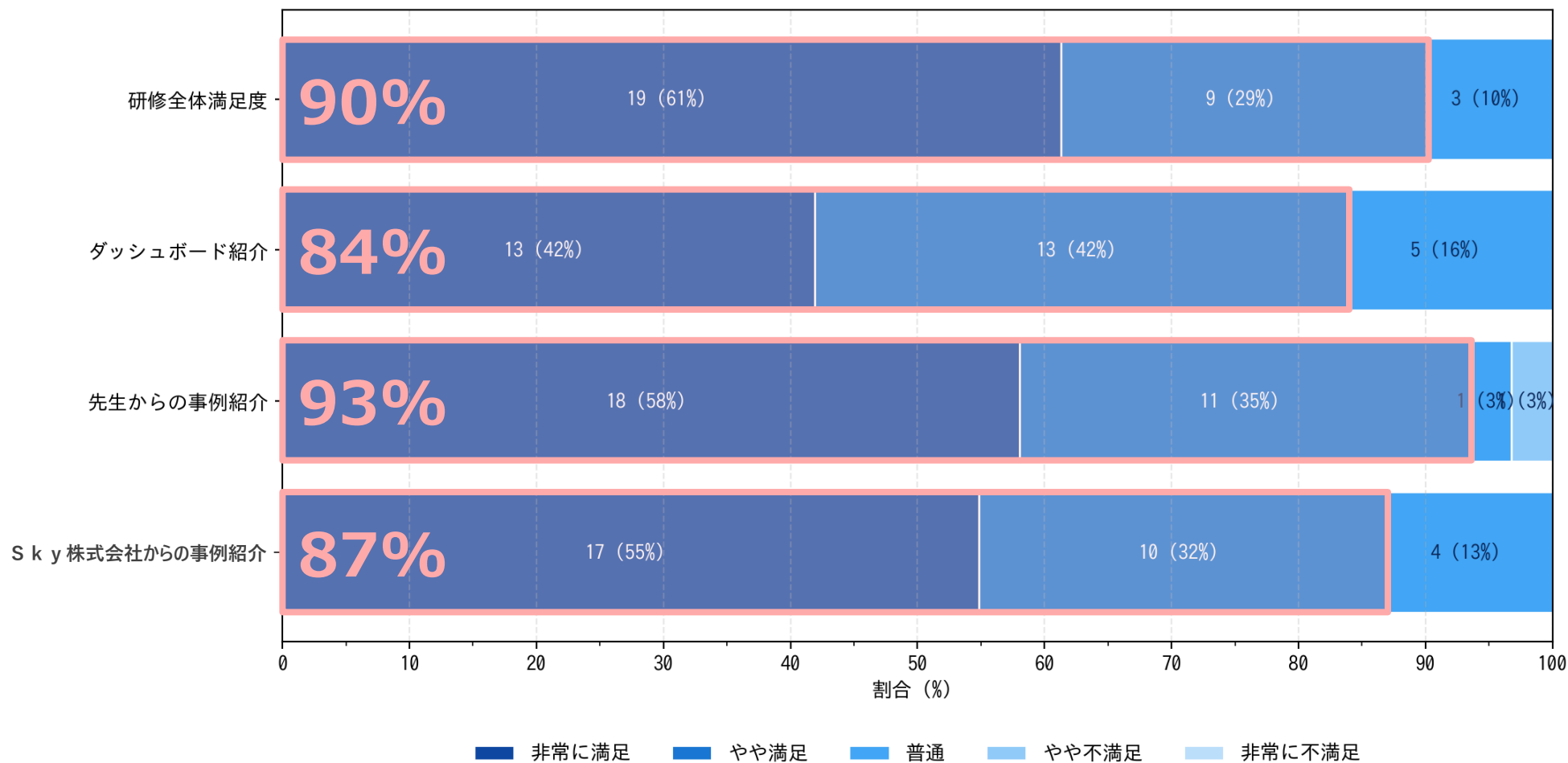
- Fractions Lesson Plan
- School AI Prompt Consultatio...

システムの操作説明

生成AI活用術

実施後アンケートにて全体的に高い満足度を確認

研修アンケート結果（満足度の100%積み上げ棒グラフ）
ラベル：人数（割合） / 総回答者数：各31人



利用体験をそのまま校務に活かすワークショップ5選！

明日、現場で使えるお題を、 ワークショップで実体験！

🎧🎧 ワークショップ.1

校外学習(大阪市立自然史博物館)のしおりを作ってみましょう！

対象：小学校2年生

💡 ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
 - ・生成AIにしてみたいことや、作りたいものを明確に伝えましょう。
 - ・行先や校外学習の目的などを添えると、それに沿った回答を生成してくれます。
- 例：
校外学習の目的：実際に触れる体験/興味、関心を広げる/社会性やマナーを学ぶ

📷🎧 ワークショップ.2

運動会の写真を使って、
保護者へのお便りを作ってみましょう！

💡 ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、運動会の様子を収めた画像ファイルを使います。
(事前配布してあります、「運動会.png」をご利用お願いします。)

🎧🎧 ワークショップ.3

生成AIを使って、青空 太郎 君の指導案を
作ってみましょう！

💡 ヒント

- ・このワークは『校務支援チャット』を利用します。
- ・この問題は、事前に宝塚市のSharePointサーバに青空太郎の
ダミー成績表ファイルを格納していますので、そちらを利用します。
※「青空太郎君の成績」を指定すれば、生成AIは上記のファイルの内容を
元にした回答を返します。

📖🎧 ワークショップ.4

生成AIに作文のフィードバックを頼んでみましょう！

💡 ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、作文をスキャンした電子ファイルを使います。
(事前配布してあります、「ぼくのすきなこと.pdf」)

📖🎧 ワークショップ.5

小テストをつくってみましょう！

💡 ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・このワークは、壁打ちによる生成AIの回答を洗練させる形で小テストを作ります。
- ・お題に沿った内容を入力させ、さらに情報を付け加えてみましょう。
- ・その後、その内容を元に小テストを作らせてみましょう。
- ・本ワークは、『研修用プロンプト』を利用する形で始めます。(次頁参照)

利用体験をそのまま校務に活かすワークショップ5選！

個人情報利用無



ワークショップ.1

校外学習(大阪市立自然史博物館)のしおりを作ってみましょう！

対象：小学校2年生



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIにしてもらいたいことや、作りたいものを明確に伝えましょう。
- ・行先や校外学習の目的などを添えると、それに沿った回答を生成してくれます。

例：

校外学習の目的：実物に触れる体験／興味、関心を広げる／社会性やマナーを学ぶ

ワークショップ.2

運動会の写真を使って、
保護者へのお便りを作ってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、運動会の様子を収めた画像ファイルを使います。
(事前配布してあります。「運動会.png」をご利用お願いします。)

ワークショップ.3

生成AIを使って、青空 太郎 君の指導案を
作ってみましょう！



ヒント

- ・このワークは『校務支援チャット』を利用します。
- ・この問題は、事前に宝塚市のSharePointサーバに青空太郎の
ダミー成績表ファイルを格納していますので、そちらを利用します。
※「青空太郎君の成績」を指定すれば、生成AIは上記のファイルの内容を
元にした回答を返します。

ワークショップ.4

生成AIに作文のフィードバックを頼んでみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、作文をスキャンした電子ファイルを使います。
(事前配布してあります。「ほのすきなこと.pdf」)

ワークショップ.5

小テストをつくってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・このワークは、壁打ちによる生成AIの回答を洗練させる形で小テストを作ります。
- ・お題に沿った内容を出力させ、さらに情報を付け加えてみましょう。
- ・その後、その内容を元に小テストを作らせてみましょう。
- ・本ワークは、『研修用プロンプト』を利用する形で始めます。(次頁参照)

利用体験をそのまま校務に活かすワークショップ5選！

個人情報利用有

ワークショップ.2

運動会の写真を使って、 保護者へのお便りを作ってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、運動会の様子を収めた画像ファイルを使います。
(事前配布してあります、「運動会.png」をご利用お願いします。)

ワークショップ.1

校外学習(大阪市立自然史博物館)のしおりを作ってみましょう！
対象：小学校2年生



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
 - ・生成AIにもらいたいことや、作りたいものを明確に伝えましょう。
 - ・行先や校外学習の目的などを添えると、それに合った回答を生成してくれます。
- 例：
校外学習の目的：実際に触れる体験/興味、関心を広げる/社会性やマナーを学ぶ

ワークショップ.3

生成AIを使って、青空 太郎 君の指導案を
作ってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『校務支援チャット』を利用します。
- ・この問題は、事前に宝塚市のSharePointサーバに青空太郎の
ダミー成績表ファイルを格納していますので、そちらを利用します。
※「青空太郎君の成績」を指定すれば、生成AIは上記のファイルの内容を
元にした回答を返します。

ワークショップ.4

生成AIに作文のフィードバックを頼んでみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、作文をスキャンした電子ファイルを使います。
(事前配布してあります、「ほのすきなこと.pdf」)

ワークショップ.5

小テストをつくってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・このワークは、壁打ちによる生成AIの回答を洗練させる形で小テストを作ります。
- ・お題に沿った内容を出力させ、さらに情報を付け加えてみましょう。
- ・その後、その内容を元に小テストを作らせてみましょう。
- ・本ワークは、『研修用プロンプト』を利用する形で始めます。(次頁参照)

利用体験をそのまま校務に活かすワークショップ5選！

個人情報利用有

ワークショップ.3

生成AIを使って、**青空 太郎** 君の**指導案**を
作ってみましょう！



ヒント

- ・このワークは『校務支援チャット』を利用します。
- ・この問題は、事前に宝塚市のSharePointサーバに青空太郎の
ダミー成績表ファイルを格納していますので、そちらを利用します。
※「青空太郎君の成績」を指定すれば、生成AIは上記のファイルの内容を
元にした回答を返します。

ワークショップ.1

校外学習(大阪市立自然史博物館)のしおりを作ってみましょう！

対象：小学校2年生



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
 - ・生成AIにしたいことや、作りたいものを明確に伝えましょう。
 - ・行先や校外学習の目的などを添えると、それに沿った回答を生成してくれます。
- 例：
校外学習の目的：実物に触れる体験／興味、関心を広げる／社会性やマナーを学ぶ

ワークショップ.2

運動会の写真を使って、
保護者へのお便りを作ってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、運動会の様子を収めた画像ファイルを使います。
(事前配布してあります、「運動会.png」をご利用ください。)

ワークショップ.4

生成AIに作文のフィードバックを頼んでみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、作文をスキャンした電子ファイルを使います。
(事前配布してあります、「ほのすきなこと.pdf」)

ワークショップ.5

小テストをつくってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・このワークは、壁打ちによる生成AIの回答を洗練させる形で小テストを作ります。
- ・お題に沿った内容を出力させ、さらに情報を付け加えてみましょう。
- ・その後、その内容を元に小テストを作らせてみましょう。
- ・本ワークは、『研修用プロンプト』を利用する形で始めます。(次頁参照)

利用体験をそのまま校務に活かすワークショップ5選！

個人情報利用無

ワークショップ.4

生成AIに作文のフィードバックを頼んでみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、作文をスキャンした電子ファイルを使います。
(事前配布してあります、「ぼくの好きなこと.pdf」)

ワークショップ.1

校外学習(大阪市立自然史博物館)のしおりを作ってみましょう！

対象：小学校2年生



- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
 - ・生成AIにしたいことや、作りたいものを明確に伝えましょう。
 - ・行先や校外学習の目的などを添えると、それに沿った回答を生成してくれます。
- 例：
校外学習の目的：実際に触れる体験／興味、関心を広げる／社会性やマナーを学ぶ

ワークショップ.2

運動会の写真を使って、
保護者へのお便りを作ってみましょう！



- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
- ・アップロードするファイルは、運動会の様子を収めた画像ファイルを使います。
(事前配布してあります、「運動会.png」をご利用お願いします。)

ワークショップ.3

生成AIを使って、青空 太郎 君の指導案を
作ってみましょう！



- ・このワークは『校務支援チャット』を利用します。
- ・この問題は、事前に宝塚市のSharePointサーバに青空太郎の
ダミー成績表ファイルを格納していますので、そちらを利用します。
※「青空太郎君の成績」を指定すれば、生成AIは上記のファイルの内容を
元にした回答を返します。

ワークショップ.5

小テストをつくってみましょう！



- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・このワークは、壁打ちによる生成AIの回答を洗練させる形で小テストを作ります。
- ・お題に沿った内容を出力させ、さらに情報を付け加えてみましょう。
- ・その後、その内容を元に小テストを作らせてみましょう。
- ・本ワークは、『研修用プロンプト』を利用する形で始めます。(次頁参照)

利用体験をそのまま校務に活かすワークショップ5選！

個人情報利用無

ワークショップ.5

小テストをつくってみましょう！



ヒント

- ・このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
- ・このワークは、壁打ちによる生成AIの回答を洗練させる形で小テストを作ります。
- ・お題に沿った内容を入力させ、さらに情報を付け加えさせてみましょう。
- ・その後、その内容を元に小テストを作らせてみましょう。
- ・本ワークは、『研修用プロンプト』を利用する形で始めます。(次頁参照)

ワークショップ.1

校外学習(大阪市立自然史博物館)のしおりを作ってみましょう！

対象：小学校2年生



このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
・生成AIにしたいことや、作りたいものを明確に伝えましょう。
・行先や校外学習の目的などを添えると、それに沿った回答を生成してくれます。
例：
校外学習の目的：実際に触れる体験/興味、関心を広げる/社会性やマナーを学ぶ

ワークショップ.2

運動会の写真を使って、
保護者へのお便りを作ってみましょう！



このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
・アップロードするファイルは、運動会の様子を収めた画像ファイルを使います。
(事前配布してあります、「運動会.png」をご利用ください。)

ワークショップ.3

生成AIを使って、青空 太郎 君の指導案を
作ってみましょう！



このワークは『校務支援チャット』を利用します。
・この問題は、事前に宝塚市のSharePointサーバに青空太郎の
ダミー成績表ファイルを格納していますので、そちらを利用します。
※「青空太郎君の成績」を指定すれば、生成AIは上記のファイルの内容を
元にした回答を返します。

ワークショップ.4

生成AIに作文のフィードバックを頼んでみましょう！



このワークは、『新規チャット(GPT-4.1)』を利用します。
・生成AIチャットシステムの、ファイルアップロード機能を使います。
・アップロードするファイルは、作文をスキャンした電子ファイルを使います。
(事前配布してあります、「ほくのすきなこと.pdf」)

その他の工夫

Teamsで加速する組織の変革。コミュニティが生み出す「知」の相乗効果

コミュニティに寄せられたユースケース事例

- ✓ ダッシュボード機能を活用した夏季休業中の児童理解の事例共有
- ✓ ロイロノート提出箱での振り返りコメント出力方法
- ✓ 埼玉県学力・学習状況調査データの生成AI分析活用方法
- ✓ 音楽室の席替え案
- ✓ 初学者が時短で新座仕様指導案を作成する事例
- ✓ 理科の単元計画案
- ✓ ロイロノートと生成AIを活用した意見分類
- ✓ 公用文作成の考え方をもとにした文章作成
- ✓ 電子黒板（StarBoard）のマニュアルをAIに保存し、使い方などを教えてもらう
- ✓ AIに考えてもらった練習問題を、ロイロノートで児童に配信し、解かせる。
- ✓ 身長をもとに運動会の徒競走のグループをつくる
- ✓ ゼロベースの会議提案資料を1時間で3本作成した事例報告
- ✓ AIに発問の案を出してもらう
- ✓ 新1年生クラス編成のたたき台案のプロンプト
- ✓ 道徳所見作成用プロンプト

校 02_事例共有 投稿 ファイル

9/03 9:06

音楽室の席替え案

音楽専科の先生が、2学期の音楽室の席替え案をAIに考えてもらいました。

「〇〇小学校〇年〇組の音楽科の席替えについて、児童の1学期の成績評価や生徒指導上の配慮事項を踏
ための席替え案を考えてください。」
1学期の座席表をチャットに添付しています。

注意点

- ・何度かAIとやり取りをする。途中で、「具体的なグループメンバー、配置図を教えてください。」というプロンプトを追加
- ・児童名が抜けていることがある。

[詳細を表示](#)

4

スレッドで返信

09/05 17:10

初学者が時短で新座仕様指導案を作成する事例

一部ですが、概要を共有させていただきます。

実施内容

- ・ これまでに作成した有用な指導案をすべて生成AI専用チャットに読み込ませ、文例や形式を学習させる。
- ・ 評価資料（必要な国や県の資料）を読み込ませる。
- ・ 指導案や解説、その他指導案作成に必要な資料を読み込ませる。

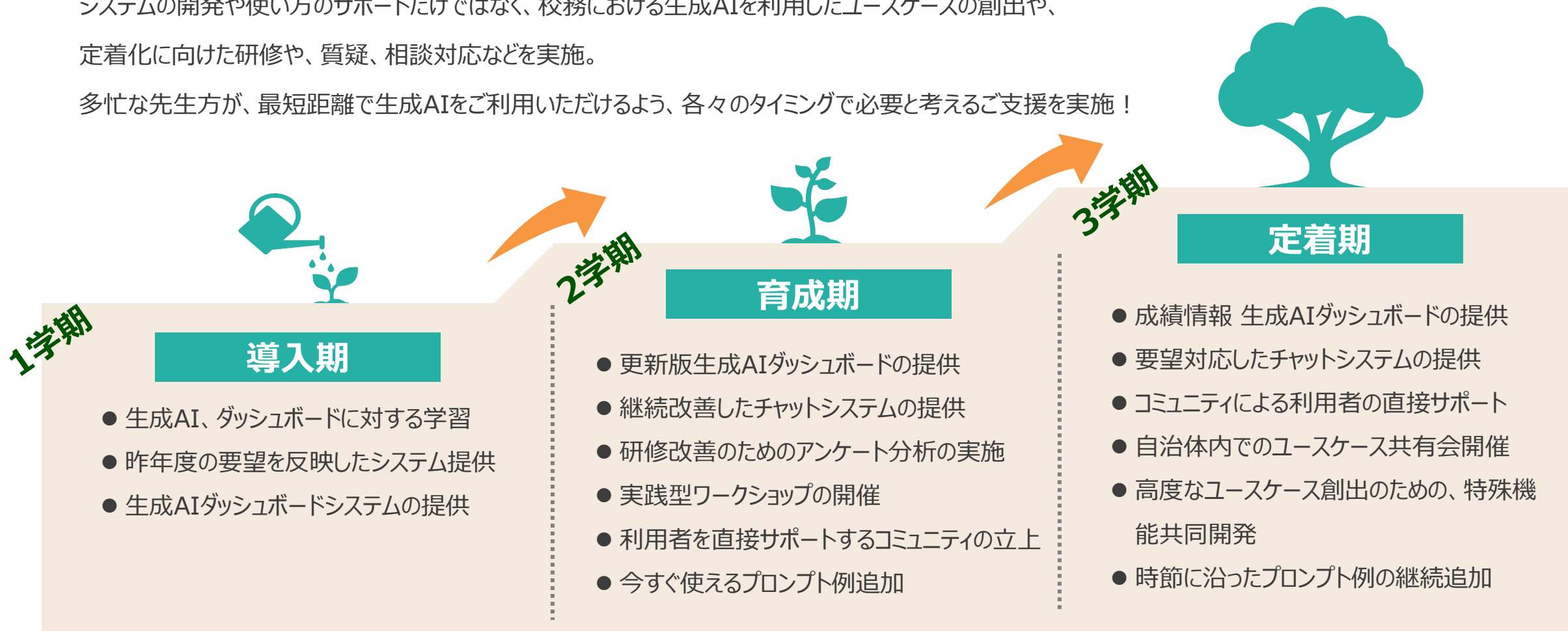
指示例「（条件）の指導案を作成してください。これまでの文体に沿って作成してください。」
結果 特に指導観や児童の実態などの文章量や表現は、これまでの指導案を学習したことで、新座市の類似し

総評 ～成果と課題～

二人三脚の伴走で、「校務における生成AI利活用」をサポート！

システムの開発や使い方のサポートだけではなく、校務における生成AIを利用したユースケースの創出や、定着化に向けた研修や、質疑、相談対応などを実施。

多忙な先生方が、最短距離で生成AIをご利用いただけるよう、各々のタイミングで必要と考えるご支援を実施！



本事業を通しての成果と、検討すべき課題

	成果	課題
提供システム	<ul style="list-style-type: none"> 従来のチャットのみではなく、ダッシュボード機能の提供 次々にリリースされるLLMモデルを即座に反映 利用者からの要望をスピーディーにシステムに反映 	<ul style="list-style-type: none"> その他の校務支援システムからのデータ連携が不可 他のAIサービスでできることが、網羅できていない
研修&ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 個別研修実施校における、研修後の利用率増加 事業者⇔教職員だけでなく、教職員⇔教職員という連携機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 各校でのオフライン研修実施が困難 (オンライン研修では、トラブルもあり全員に同じ質を届けられず) 踏み出せていない方々への研修参加への動機づけ
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 教職員間での利用ケース共有による相乗効果 自治体の垣根を越えた、複数回の勉強会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 全体をリードいただける先生方の負担 できるからではなく、やろうという方にもスポットを 気軽に投稿可能な雰囲気づくり 利用者間での活発な会話
利用状況 ユースケース創出	<ul style="list-style-type: none"> 実際の校務を元にした、生成AIの活用事例の増加 研修及び事例共有による、利用者全体の利用レベル底上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書データに対する生成AIの利用では著作権の論点整理が必要 未利用者へのアプローチ不足 プロンプトの書き方の格差の発生

初年度の課題に対する今年度の結果

生成AIの校務での活用に関する実証研究(令和6年度実施)		今年度における結果		
事業の背景・概要	適切なセキュリティを確保し、データベースの整備も含め重要性の高い情報を取り扱える環境（以下「セキュアな環境」という。）において、教職員が生成AIを校務でどのように活用できるかを検証する実証研究を実施。	—	初年度に引き続き、セキュアな環境における実証研究を実施。初年度に基盤ができていたため、今年度は期初より教職員の方々にシステムをご利用いただき、校務利用を進めていただけた。	
成果	これまでの約款による外部サービスの活用では実現できなかった、児童生徒の氏名や成績情報等の重要性の高い情報を用いた児童生徒の見取り・支援の強化や所見の作成、アンケート分析等の 生成AIの利活用事例が各地域の抱える課題の解消を狙って創出 され、実際に教師や教育委員会職員の業務の効率化や高度化等の効果が確認できた点が、主な成果。		初年度に引き続き、生成AIを単なる検索の延長ではなく、データ活用の始点でご活用いただける機会が増えた。	
「環境整備」に関する課題と改善策	①知識データの収集方法の改善	校務支援システムや学習eポータル等、学校現場で利用されている 各種システムのデータの標準化やデータ構成・APIの公開 を進め、システム間連携をスピーディかつ容易にすることが重要。		初年度に引き続き、継続的な課題。各校務支援システムにおいて、各システムに登録されている児童・生徒の情報を生成AIが参照できるようにすれば、生成AIが校務に自然に寄り添うことが可能となる。
	②知識データの質と量の担保	日々の情報のデジタル化と各種システム上へのデータ蓄積に対する 教職員の意識醸成やデータの標準化、適切なデータクレンジングを行うこと で、生成AIの回答精度の向上につながる。		初年度と比較しシステム面においても、データレイクの導線や生成AIでの参照可能タイミングを改善、またファイルアップロードの改善によりデータ利活用は進んだものの、まだデータ増加やデータの質に伴う、生成AIにおける精度低下課題は残存。
「利活用推進」に関する課題と改善策	①生成AIの特性に対する理解の向上	教職員の理解度等に応じた研修を実施する等、生成AIの得意な領域を改めて理解し、その 特性を踏まえた実践を推進できる よう支援することが肝要。また、開発事業者にて利用目的を絞り込んだ機能開発を行い、「 どの機能でどの校務を効率化/高度化できるか 」の点を明確にすることも、教職員が当該生成AIチャットボットを活用する場面を検討する上で効果的。		システムにおいて、使い方を明確にしメニューで分けることで、生成AIの特性を最大限に生かした機能提供が可能となった。例えば、時間がかかってしまうものの、推論が得意なLLMを、精度を求める分析機能にのみ利用するや、画像の扱いが得意なLLMを使った画像生成、編集機能など、特性を生かした使い分けを実施。
	②プロンプトの精度の向上	教職員が十分に生成AIの特徴を理解したうえで、利活用を行えるよう、 研修などを通して教職員の啓発を行うこと が重要。		ご利用いただく教職員の皆様からのアンケートを元に、そのタイミングで必要な研修やワークショップを実施。効果の最大化を行った。
	③情報発信・共有を通じたサポートの充実	学校や地域の垣根を超えて 利用者同士が繋がる交流の場の設定 や、 各校への推進者/伝道者の配置、他校の実践事例の共有等の取組 が重要。		新座市、宝塚市双方で、牽引役となられる方、色々なことに挑戦してくださる方が、利用した結果を共有してくださる方が増え、自治体間における有志での勉強会にまで発展！

今年度得ることができた教訓と、今後に向けた考察

	事業を通して感じた課題	教訓
セキュリティとAI	生成AIで利用できるデータに対する整備が途上であり、 利用時の心理的負担を感じる場面がある 。 「教科書の内容は生成AIに参照させて良いのか？」や、一般の生成AIアプリでは「この情報はAIに渡していいのか？」と常に気を遣う必要がある。	セキュアな環境を準備することが 、個人情報を含めた利用を行う上では 不可欠 であると考える。 ※利用者の心理的負担を軽減させる。 校務の効率化を考えた際、教職員が行う校務の多くは所見作成など生徒の個人情報を取り扱うもの。セキュアな環境であればそのような校務にもアプローチができる。 しかし、 教科書などを使用する際には、著作権に関する論点を踏まえた検討が必要 と考える。
生成AIの利用	利用者が 生成AIで何ができるのかイメージが持ち切れず 、結果、便利さを期待することができない。 その結果、利用を足踏みしてしまう。	システムの機能説明より、まず、生成AIについての理解を深めていただくことが必要と考える。 生成AIによる校務の効率化の事例説明を行い、 期待を持っていただくこと が、その後の生成AIの利活用を進めるうえで必要であると考える。
	システム利用がなかなか広がらない 。	システムを利用することで生まれる ユースケースや、便利な使い方を広める伝道師となる熱心な利用者にご協力をいただくことが重要 と考える。 また、野火止小学校の好事例の背景にもある、 教頭や情報主任による、力強い推進や心理的安全性の確保 (使ってよい、使った結果で評価が得られる)が、生成AIの利活用を進めるうえでは重要な因子であると考える。
データ蓄積	AI用のデータを投入するにあたり どのような形式にすればいいかわからない 。 また、 不要なデータが大量に蓄積するとAIの回答精度に影響がでてしまう 。	AIが読み取れるデータ形式/AIが理解しやすいデータ形式に対する理解 を深めていただくことが重要であると考える。 また、AI利用を前提とし、校務支援システムから得られるデータのAI Readyの状態とする仕組みが必要と考える。
効果検証	費用対効果に 見合う定量的な効果の示し方が難しい 。	運用開始前に効果測定的设计をしておくことが必要 と考える。 どのような校務のプロセスにて、どのような手順を行い、そこにどれくらいの時間がかかっているのか、一連のプロセスに生成AIを組み込んだことで、どれくらいの時間削減となったのかを検証可能としておく必要がある。
精度・信頼性	生成AIを活用するには、生成AIのモデル、参照データ、プロンプトの掛け算。 各々の理解を深めて、適切なデータ準備や利用を行うことが必要 となるが、慣れるまでは難しい。	システムとして、可能な限り 利用者の負担を減らすことができる仕組みを構築 することが必要と考える。 また、 校務支援システムとAIの間でデータ整形を行える仕組み が、生成AIの利活用を大きく進めるうえで重要な因子であると考える。

ご清聴ありがとうございました。